

国語仮名遣改定案 等(国語調査委員会及び高等教育会議への諮問)

国語仮名遣改定案

緒言

- 一 本案ノ改定仮名遣ハ口語文語共ニ適用スルモノトス
- 二 本案ノ改定仮名遣ハ現行ノ国定小学校教科書大修正ノ場合ニ実行スルモノトス
- 三 本案ノ改定仮名遣ハ中等教育ノ学校教授上ニモ実行セシコトヲ期ス
- 四 本案ノ改定仮名遣実行ニ伴ヒ五十音図中阿行ノおハをニ改メ和行ノゐハいニ、ゑハえニ改ム

第一条 おハをニ改ム

- 例
- | | | |
|-----------------------|--|------------------------------------|
| を ⁺ かけ(御蔭) | を ⁺ き(沖) | を ⁺ し(啞) |
| を ⁺ や(親) | を ⁺ の ⁺ を ⁺ (各) | を ⁺ く(置) |
| を ⁺ す(押) | を ⁺ も ⁺ う(思) | を ⁺ そ ⁺ る(恐) |

第二条 わト発音スルハハわニ改ム

- 例
- | | | |
|---|---|--|
| わ ⁺ (天爾遠波) | い ⁺ わ ⁺ (岩) | い ⁺ し ⁺ わ ⁺ ら(石原) |
| う ⁺ ち ⁺ わ ⁺ (団扇) | う ⁺ つ ⁺ わ ⁺ (器) | か ⁺ わ ⁺ (河) |
| か ⁺ わ ⁺ ら(瓦) | か ⁺ た ⁺ わ ⁺ (不具) | く ⁺ わ ⁺ (桑) |
| な ⁺ わ ⁺ (繩) | に ⁺ わ ⁺ (庭) | あ ⁺ ら ⁺ わ ⁺ す(著) |

第三条 いト発音スルハいニ改ム

- 例
- | | | |
|--|---|--|
| い ⁺ つ ⁺ わ ⁺ る(佯) | を ⁺ わ ⁺ す(御坐) | く ⁺ わ ⁺ だ ⁺ つ(企) |
| た ⁺ わ ⁺ む ⁺ る(戯) | ま ⁺ わ ⁺ る(廻) | や ⁺ わ ⁺ ら ⁺ ぐ(和) |
| う ⁺ る ⁺ わ ⁺ し(麗) | か ⁺ わ ⁺ ゆ ⁺ ら ⁺ し(可愛) | く ⁺ わ ⁺ し(委) |
| な ⁺ げ ⁺ か ⁺ わ ⁺ し(歎) | に ⁺ わ ⁺ か ⁺ に(俄) | き ⁺ わ ⁺ め ⁺ て(極) |
| い ⁺ わ ⁺ ん ⁺ や(況) | あ ⁺ わ ⁺ れ(噫) | あ ⁺ ら ⁺ わ ⁺ (洗) |
| き ⁺ ら ⁺ わ ⁺ (嫌) | さ ⁺ そ ⁺ わ ⁺ (誘) | なら ⁺ わ ⁺ (習) |
| ひ ⁺ ろ ⁺ わ ⁺ (拾) | ま ⁺ わ ⁺ (舞) | や ⁺ と ⁺ わ ⁺ (備) |
| か ⁺ よ ⁺ わ ⁺ す(通) | く ⁺ る ⁺ わ ⁺ す(狂) | た ⁺ だ ⁺ よ ⁺ わ ⁺ す(漂) |
| な ⁺ ら ⁺ わ ⁺ す(習) | ま ⁺ ど ⁺ わ ⁺ す(惑) | よ ⁺ わ ⁺ す(酔) |
| わ ⁺ ず ⁺ ら ⁺ わ ⁺ す(煩) | か ⁺ わ ⁺ る(変) | く ⁺ わ ⁺ わ ⁺ る(加) |
| そ ⁺ わ ⁺ る(添) | た ⁺ ま ⁺ わ ⁺ る(賜) | つ ⁺ た ⁺ わ ⁺ る(伝) |
| い ⁺ わ ⁺ く(曰) | を ⁺ も ⁺ わ ⁺ く(思) | ね ⁺ が ⁺ わ ⁺ く(願) |
| の ⁺ た ⁺ ま ⁺ わ ⁺ く(宣) | う ⁺ た ⁺ が ⁺ わ ⁺ し(疑) | ふ ⁺ さ ⁺ わ ⁺ し(相応) |
| わ ⁺ ず ⁺ ら ⁺ わ ⁺ し(煩) | | |

たましい(魂) ひいらぎ(柎) にいなめ(新嘗)

いいだまち(飯田町) よろい(鎧) かいこ(蚕)

あるいわ(或) たらい(盥) ついやす(費)

たいらく(平) ちいさし(小) ついに(遂)

あらい(洗) きらい(嫌) さそい(誘)

ならい(習) ひろい(拾) まい(舞)

やとい(傭) こい(恋) しい(強)

こいし(恋) しいて(強)

第四条 おト発音スルふハをニ改ム

例 あをい(葵) あをぐ(仰) たをす(倒)

あをる(煽)

第五条 うト発音スルふハうニ改ム

例 あやうし(危) あらう(洗) きらう(嫌)

さそう(誘) ならう(習) ひろう(拾)

まう(舞) やとう(傭) こう(恋)

をとろう(衰)

第六条 ゆト発音スルふハゆニ改ム

例 かゆ(換) しゆ(強) そゆ(添)

たゆ(堪) をしゆ(教)

第七条 えト発音スルへハえニ改ム

例 え(天爾遠波) さえ(同上) いえ(家)

うえ(上) ひとえ(一重) いにしえ(古)

さえぎる(遮) あえて(敢) あらえ(洗)

きらえ(嫌) さそえ(誘) ならえ(習)

ひろえ(拾) まえ(舞) やとえ(傭)

をとろえ(衰) かえ(換) そえ(添)

たえ(堪) をしえ(教)

第八条 おト発音スルほハお列ノ下ニアリテ其長音ニ発音ス

ルモノハ一ニ改メ他ハをニ改ム

例 いをり(庵) かを(顔) しを(塩)

をーやけ(公) ほー(頬) ほーずき(酸漿)

ほーのき(朴) こーり(氷) にをう(匂)

なをす(直) うるをう(潤) ををう(被)

とーる(通) いきどーる(憤) とどこーる(滯)

もよーす(催) をーす(仰) しをからし(鹹)

をーきし(大) をーし(多) とーし(遠)

なを(猶) なをざりに(等閑)

第九条 めハイニ改ム

例 いど(井戸) いのしし(猪) いざり(躰)

くらい(位) はらいせ(報怨) もとい(基)

くわい(慈姑)』 まいる(参) いる(居)
 ひきいる(率)

第十条 ゆト発音スルうハゆニ改ム

例 うゆ(植) すゆ(据)

第十一条 えト発音スルゑハえニ改ム

例 え(画) こえ(声) つくえ(机)
 つえ(杖) すえ(末) ゆえ(故)
 ともえ(巴)』 えむ(笑) うえ(植)
 すえ(据)

第十二条 ぢハジニ改ム但シ左ノ二ツノ場合ハ此限ニアラズ

(イ) 二語連合ノ音便ニ依リテ生ジタルぢ

(ロ) 同音ノ連呼ニ依リテ生ジタルぢ

例 すじ(筋) うじ(氏) ふじ(藤)
 わらじ(草鞋) くじら(鯨)』 よじ(攀)
 はじ(恥)

但書 (イ) はなぢ(鼻血) もらいぢち(貫乳)
 ひぢりめん(緋縮緬) こぢから(小力)

(ロ) ちぢむ(縮) ちぢまる(縮)

附則 語源ヨリ云ヘバ本条但書ニ該当スルモノナルモ今ハ単立

語ト見做サルルモノハ仍ホ本文ノ例ニ依ル

例 をじ(伯父) こーじ(麴) こーじ(小路)

第十三条 づハずニ改ム但シ左ノ二ツノ場合ハ此限ニアラズ

(イ) 二語連合ノ音便ニ依リテ生ジタルづ

(ロ) 同音ノ連呼ニ依リテ生ジタルづ

例 うず(渦) みず(水) なまず(鯰)
 あず(梓) うず(埋) さず(授)
 ゆず(讓) しず(沈)』 しずかに(静)
 まず(先)』 めず(珍) うず(堆)
 よず(攀) はず(恥) いず(出)
 むきんず(抽)

但書 (イ) たづ(手綱) みかづ(月)

(ロ) かなづち(鉄槌) かんづめ(罐詰)』
 ゆきづまる(行詰) ころづよし(心強)

(ロ) つづみ(鼓) つぎづき(月月)
 つづら(葛籠) つづく(続)

附則 語源ヨリ云ヘバ本条但書ニ該当スルモノナルモ今ハ単立

語ト見做サルルモノハ仍ホ本文ノ例ニ依ル

例 さかづき(盃) いづみ(泉)』 つまづく(躓)

第十四条 阿列ノ仮名ニフガ附キテ於列ノ長音ニ発音スルモ

ノハ於列ノ仮名ニ一ヲ附ス但シ動詞ノ語尾ニシテ一ニ当ル

モノハうヲ用フ

例ノ一(あふヲをーニ改ムルモノ)

をーギ(扇)

例ノ二(さふヲそーニ改ムルモノ)

をーみ(近江)

例ノ三(たふヲとーニ改ムルモノ)

そーろ(候)

例ノ四(なふヲのーニ改ムルモノ)

とーと(遠江)

例ノ五(はふヲほーニ改ムルモノ)

とーと(尊)

例ノ六(まふヲもーニ改ムルモノ)

いのー(稻生)

但書
例 在う(逢)

ほーる(投)

うとう(歌)

さがのう(支)

あとう(与)

ほう(這)

あがのう(購)

うしのう(失)

もう(舞)

かぼう(庇護)

附則 語源ヨリ云へバ本条但書ニ該当スルモノナルモ今ハ単立

語ト見做サルルモノハ仍ホ本文ノ例ニ依ル

例 すもー(角力)

第十五条 阿列ノ仮名ニうガ附キテ於列ノ長音ニ発音スルモ

ノハ於列ノ仮名ニーヲ附ス但シ左ノ二ツノ場合ニシテーニ

当ルモノハうヲ用フ

(イ) 動詞形容詞ノ語尾ノ音便

(ロ) 未来助動詞うノ附キタルモノ

例ノ一(かうヲこーニ改ムルモノ)

こーがい(筭)

例ノ二(さうヲそーニ改ムルモノ)

こーべ(神戸)

例ノ三(たうヲとーニ改ムルモノ)

こーもり(蝙蝠)

例ノ四(はうヲほーニ改ムルモノ)

こーばし(馨)

例ノ五(まうヲもーニ改ムルモノ)

こー(斯)

例ノ六(やうヲよーニ改ムルモノ)

そー(然)

例ノ七(らうヲろーニ改ムルモノ)

とーげ(峠)

例ノ八(わうヲをーニ改ムルモノ)

ほーき(箒)

例ノ九(はうヲほーニ改ムルモノ)

ほーむる(葬)

例ノ一〇(まうヲもーニ改ムルモノ)

もーけ(儲)

例ノ一一(やうヲよーニ改ムルモノ)

もーす(申)

例ノ一二(らうヲろーニ改ムルモノ)

よーか(八日)

例ノ一三(わうヲをーニ改ムルモノ)

よーやく(漸)

但書
例 在う(飼)

よーよー(漸)

例ノ一四(かうヲこーニ改ムルモノ)

くろーど(蔵人)

例ノ一五(はうヲほーニ改ムルモノ)

いをー(硫黄)

(イ) ふそ(相応)

あそ(浅)

(ロ) ゆこ(行)

きこ(聞)

(イ) ふそ(相応)

あそ(浅)

(ロ) ちらそ^チう^ウ(散)

(イ) うと^ウう^ウて^テ(歌) めでと^メう^ウ(目出度)

(ロ) うと^ウう^ウ(打)

(イ) あが^アの^ノう^ウて^テ(購) の^ノう^ウ(無)

(ロ) し^シの^ノう^ウ(死)

(イ) ほ^ホう^ウて^テ(這)

(ロ) あそ^アぼ^ボう^ウ(遊)

(イ) も^モう^ウて^テ(舞) あも^アう^ウ(甘)

(ロ) あゆ^アも^モう^ウ(歩)

(イ) は^ハよ^ヨう^ウ(早)

(イ) あろ^アう^ウて^テ(洗) くろ^クう^ウ(暗)

(ロ) い^イの^ノろ^ロう^ウ(祈)

(イ) よ^ヨを^ウう^ウ(弱)

第十六条 は^ハに^ニう^ウが^ガ附^ツキ^テを^トト^ト発^ハ音^ンス^ルモ^ノハ^ハ之^ヲを^トニ^ニ改^メム^ル但^シ左^ノ二^ツノ^ノ場^合ニ^シテ^ニ当^ルモ^ノハ^ハう^ウヲ^ヲ用^フ

(イ) 動詞形容詞ノ語尾ノ音便

(ロ) 未来助動詞^ウノ^ノ附^キタル^モノ

例 す^スを^ウ(周防)

(イ) あじ^アを^ウて^テ(味) こ^コを^ウ(強)

(ロ) あ^アを^ウ(将逢)

第十七条 か^カに^ニほ^ホが^ガ附^ツキ^テこ^トト^ト発^ハ音^ンス^ルモ^ノハ^ハ之^ヲこ^トニ^ニ改^メム

改ム

例 あ^アこ^コー^ホ(赤穂)

第十八条 阿^ア列^レノ^ノ假^ナ名^ニを^ガ附^ツキ^テ於^テ列^ノ長^キ拗^音ニ^ニ発^ハ音^スル^モノ

ノ^ハ於^テ列^ノ假^名ニ^ニヲ^ヲ附^ス

例^ノ一(あ^アを^ウを^トニ^ニ改^ムル^モノ) を^アー^アめ^メわ^ワた^タ(青梅綿)

例^ノ二(ま^マを^ウも^トニ^ニ改^ムル^モノ) も^アー^アか^カも^メん^ン(真岡木綿)

第十九条 以^レ列^ノ假^名ニ^ニふ^フが^ガ附^ツキ^テ以^レ列^ノ長^キ拗^音ニ^ニ発^ハ音^スル^モノ^ハ以^レ列^ノ拗^音ニ^ニヲ^ヲ附^ス

例^ノ一(ぎ^ギふ^フら^ラぎ^ギゆ^ユー^ニ改^ムル^モノ) や^ギぎ^ギゆ^ユー^ニ(柳生)

例^ノ二(り^リふ^フり^リゆ^ユー^ニ改^ムル^モノ) き^リり^リゆ^ユー^ニ(桐生)

第二十条 以^レ列^ノ假^名に^ニう^ウが^ガ附^ツキ^テ以^レ列^ノ長^キ拗^音ニ^ニ発^ハ音^スル^モノ^ハ以^レ列^ノ拗^音ニ^ニヲ^ヲ附^ス但^シ形^容詞^語尾^ノ音^便ニ^シテ^ニ当^ルモ^ノハ^ハう^ウヲ^ヲ用^フ

例^ノ一(き^キう^ウら^ラき^キゆ^ユー^ニ改^ムル^モノ) あ^キき^キゆ^ユー^ド(商人)

例^ノ二(し^シう^ウら^ラし^シゆ^ユー^ニ改^ムル^モノ) し^シゆ^ユー^ト(舅)

例^ノ三(ひ^ヒう^ウら^ラひ^ヒゆ^ユー^ニ改^ムル^モノ) ひ^ヒゆ^ユー^ガ(日向)

例^ノ四(り^リう^ウら^ラり^リゆ^ユー^ニ改^ムル^モノ) か^リり^リゆ^ユー^ド(狩人)

但書 例^ノを^オー^ホき^キゆ^ユう^ウ(大) ひ^ヒさ^サし^シゆ^ユう^ウ(久)

第二十一条 字列ノ仮名ニふガ附キテ其長音ニ発音スルモノ

ハ字列ノ仮名ニ一ヲ附ス但シ動詞ノ語尾ニシテ一ニ当ルモノハ一ヲ用フ

例ノ一(ずふヲずーニ改ムルモノ) くずー(葛生)

例ノ二(ゆふヲゆーニ改ムルモノ) ゆーだち(夕立)

但書 例ノ二(ゆふヲゆーニ改ムルモノ) ゆう(結)

附則 語源ヨリ云へバ本条但書ニ該当スルモノナルモ今ハ単立

語ト見做サルルモノハ仍ホ本文ノ例ニ依ル

例 ゆーき(結城)

第二十二條 江列ノ仮名ニふガ附キテ以列ノ長キ拗音ニ発音

スルモノハ以列ノ拗音ニ一ヲ附ス但シ動詞ノ語尾ニシテ一ニ当ルモノハ一ヲ用フ

例 きよー(今日)

但書 例 かみちようかみ(神といふ神)

第二十三條 よト発音スルゑハ之ヲよニ改ム

例 よう(酔)

第二十四條 江列ノ仮名ニうガ附キテ以列ノ長キ拗音ニ発音

スルモノハ以列ノ拗音ニ一ヲ附ス但シ未来助動詞うノ附キ

タル場合ニシテ一ニ当ルモノハ一ヲ用フ

例ノ一(てうヲちよーニ改ムルモノ) ちよーず(手水)

例ノ二(めうヲみよーニ改ムルモノ) みよーと(夫婦)

但書 例 ゆきましよー(行)

第二十五條 於列ノ仮名ニふガ附キテ其長音ニ発音スルモノハ於列ノ仮名ニ一ヲ附ス但シ動詞ノ語尾ニシテ一ニ当ルモノハ一ヲ用フ

例ノ一(のふヲのーニ改ムルモノ) きのー(昨日)

例ノ二(もふヲもーニ改ムルモノ) しもーさ(下総)

例ノ三(ろふヲろーニ改ムルモノ) ふくろー(梟)

但書 例 ととのう(整) をもう(思) のろー(詛)

附則 語源ヨリ云へバ本条但書ニ該当スルモノナルモ今ハ単立

語ト見做サルルモノハ仍ホ本文ノ例ニ依ル

例 かげろー(陽炎)

第二十六條 於列ノ仮名ニうガ附キテ其長音ニ発音スルモノハ於列ノ仮名ニ一ヲ附ス但シ動詞形容詞語尾ノ音便ハ此限

ニアラズ

例ノ一(こうヲこーニ改ムルモノ) こーじ(小路)

例ノ二(とうヲとーニ改ムルモノ) とーじ(杜氏)

例ノ三(ぼうヲぼーニ改ムルモノ) いぬぼーざき(犬吠)

例ノ四(もうヲもーニ改ムルモノ) いもーと(妹)

例ノ五(ようヲよーニ改ムルモノ) よーべ(昨夜)

もー(最早)

例ノ六(ろうろろーニ改ムルモノ) しろーと(素人)
但書 例 こうて(乞) とうて(問) をもうて(思)

かようて(通) よう(善) そろうて(揃)
をもしろう(面白)

第二十七条 とニをガ附キテとート発音スルモノハ之ヲと

ニ改ム
例 とー(十)

第二十八条 添音ト称スルモノハ一ヲ用ヒテ表記ス

例 ふー(夫婦) ねーさま(姉様) ぴーかぴか(煌々)
ひーらひら(片々) なーに(何) かのー(狩野)

第二十九条 感歎詞及擬声語ノ中ノ長ク引ク音ハ一ヲ用ヒテ

表記ス
例 あー さい 雨がざーざー
笛がぴーぴー 鳥がかーかー 牛がもーもー

第三十条 字音ヲ借りテ国音ヲ表記シタルモノ及素ト字音ナ
リシモ国音ノ例ニヨリテ変化セシモノハ共ニ前諸条ノ例ニ

依ル
例 あわ(阿波) をき(隠岐) こー(国府津)
びわ(琵琶)

第三十一条 文語ノ一段活用二段活用加行変格及佐行変格ノ

動詞ヲ口語ニテ未来ニ用フルトキハ左ノ例ニ依リテ表記ス

例 いやう(射) けよう(蹶) うけよう(受)
をきよう(起) こよう(来) しょう(為)

国語仮名遣改定案ニ依レル文例

其一

タロー ワ ヨイ コドモ デス。ウチ デワ、ヲトーサン
ヤ ヲカーサン ノ イウ コトヲ ヨク キキマス。
ガッコー デワ、センセー ノ ヲシエ ヲ マモッテ、ヨ
ク ベンキョーシマス。ウンドー モ シマス。
タロー ワ キット カシコイ ヒト ニ ナリマシヨウ。

其二

瓜生岩わ福島県の人なり。十七歳のとき会津藩士瓜生氏に嫁
ぎたりしが、よく夫としゅーと、しゅーとめにつかえ、下男、
下女をいたわり、もっぱら家事をばげみたりしかば、家のも
の、みな、むつみあいて、楽しく、くらしたりき。

其三

夫れ女子わ男子に等しく生れて父母に養育せらるゝの約束な
れば其成長に至るまで両親の責任軽からずと知る可し多産又
わ病身の母なれば乳母を雇うも母体衛生の爲めに止むを得ざ
れども成る可くば実母の乳を以て養う可し母体平生の健康大
切なる所以なり小児は牛乳を以て養うべしと云い財産家わ乳
母を雇うこと易しとて母に乳あるも態と之を授けずして恰も

我子の生立をいたちを傍観する者なきにあらず大なる心得違ちがひにして自然の理に背く者と云う可し

備考 文中新定ノ仮名遣ガ旧来ノ仮名遣ニ代ル場合ニハ之ヲ明ニスル為メ字傍ニ直線ヲ直シ置ケリ

(参照) 台湾教科用書 国民読本ノ文例

其一

家 わ、日 あたり が、よくて、風 が とおるよおに、まど が、たくさん あけて ある のが、よい のであります。

そおして、家 の 内 も 外 も、きれいに そおじおおして、おかなければ いけませぬ。

其二

この 生徒 わ べんとお お すましてから、山お おりて、今、下の町 え きました。町 の りょおがわにわ、いろくの物 お うる 店 が、たくさんならんで います。

字音仮名遣(小学校令施行規則第二号表)ニ関スル事項

一 本表ノ新定字音仮名遣中おヲをニ、おーヲをーニ改ム

二 本表ノ新定字音仮名遣中か、が及び、ずノ下ノ附註「従来慣用ノ例ニ依ルモ妨ナシ」ヲ削除ス

三 本表ニ左ノ二十二項ヲ加フ
従来用ヒ来レル字音仮名遣

新定ノ字音仮名遣

えい けい せい ぜい てい だい ねい へい べい ぺい めい れい ゑい くう ぐう すう つう づう ふう ぶう

えい けい せい ぜい てい だい ねい へい べい ぺい めい れい ゑい くう ぐう すう つう づう ふう ぶう